

世界と日本のエネルギー資源に関する下記の問に答えよ。(40点)

**問1** 次の表1は、主な国における発電方式別の発電量を示したものである。表1中のa～eは、オーストラリア・中国・ノルウェー・ブラジル・フランスのいずれかの国であり、ア～ウは、火力発電・原子力発電・水力発電のいずれかの発電方式である。

表1

国	ア (億 kWh)	イ (億 kWh)	ウ (億 kWh)	合計 (億 kWh)
日本	9,554	－	869	10,537
カナダ	1,394	1,077	3,826	6,562
a	32	－	1,366	1,423
b	335	4,365	686	5,628
c	42,966	1,325	10,643	56,789
d	1,892	154	3,734	5,906
e	2,148	－	184	2,483

統計年次は2014年。

合計には、ア～ウ以外の発電方式による発電量も含む。

IEA 資料による。

- 表1のウの方式による発電量が総発電量に占める比率が6割以上の国およびカナダにおいて、この電力を利用して発達した工業種名を1つ答えよ。(3点)
- 表1のbにおいて、イの方式による発電量の比率が高くなっている理由を、初めにbの国名を記して、併せて60字以内で述べよ。(8点)
- 表1のcとeにおいて、アの方式による発電には、共通するエネルギー資源がとくに多く利用されている。しかし、両国におけるこのエネルギー資源の産出および消費構造は異なる。このことについて、cとeの国名を「f 日本」のように記しつつ、下記の語句をすべて使用して、120字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。(14点)

輸出国 世界最大 エネルギー源

**問2** 次のページの表2は、2015年における日本の原油の輸入先の上位12カ国、および、各国の日本への輸出量を示したものである。これらの12カ国は、順位・輸出量ではない、ある基準によってXグループとYグループに分けられている。

- 表2において、日本の最大の原油輸入相手国であるpの国名を答えよ。(3点)
- 表2のXグループの5カ国において共通する原油生産量の特徴を、30字以内で述べよ。(4点)
- 表2中のベトナムでは、1980年代後半から、原油の輸出が行われるようになった。原油の輸出が可能になった理由を、60字以内で述べよ。(8点)

表2

グループ	国	日本への輸出量 (千 kl)
X	D	65,319
	アラブ首長国連邦	49,508
	カタール	15,933
	クウェート	15,236
	イラン	9,799
	イラク	3,285
Y	ロシア	17,155
	インドネシア	4,300
	メキシコ	2,330
	エクアドル	1,723
	ベトナム	1,679
	コロンビア	1,427

財務省『貿易統計』による。